

各 位

会 社 名 株式会社三洋堂ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役最高経営責任者兼 加藤 和裕
最 高 執 行 役 員
(JASDAQ コード番号: 3058)
問 合 せ 先 取締役副社長上席執行役員 竹林 由夫
社 長 室 長
(TEL: 052-871-3434)

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

この度、平成 24 年 3 月期に下記の特別損失が発生する見込みとなりましたので、お知らせいたします。また、最近の業績の動向を踏まえ、平成 23 年 5 月 13 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

平成 24 年 3 月期決算において「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、収益性の低下が見込まれる一部店舗の建物等の固定資産について、減損損失 135 百万円を特別損失に計上いたします。

2. 平成 24 年 3 月期 連結業績予想数値の修正(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	28,200	500	450	100	17.88
今回修正予想(B)	27,635	633	613	128	22.46
増減額 (B-A)	△565	133	163	28	—
増減率 (%)	△2.0	26.7	36.4	28.0	—
(ご参考)前期実績 (平成 23 年 3 月期)	27,983	364	314	△122	△22.05

(修正の理由)

売上高は、主力の書店部門で当初の予想を下回ったことが響き、全体では前回の予想を 5 億 65 百万円下回る 276 億 35 百万円を見込んでおります。一方、売上総利益は古本部門や文具部門の売上占有率の拡大により前年並みを確保できる見込みであり、また新規店舗の開店が来期にずれ込んだ影響による開店費用の減少に加え、改装業務の内製化や節電等の経費削減努力を進めた結果、営業利益は前回の予想を 1 億 33 百万円、経常利益は 1 億 63 百万円上回る見込みです。

税制改正に伴う繰延税金資産の取り崩しを行った影響で税金費用が増えたものの、上記の内容に加えて前述の「1. 特別損失の発生及びその内容」に記載の特別損失が見込みを下回ったことから、当期純利益は前回の予想を 28 百万円上回る見込みとなりました。

- (注) 1. 平成 23 年 4 月 1 日付けをもって 1 株につき 2 株の割合で株式分割をしており、前期実績の 1 株当たり当期純利益につきましては、当該分割の影響を考慮しております。
2. 上記の業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいております。従いまして、実際の業績は、今後様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以上